



第3回こども貧困対策会議 資料

資料4

平成28年度ステップ事業報告と平成29年度の展開



ASK NET

NPO法人 アスクネット

名古屋市熱田区沢下町8-5
TEL 052-881-4349 FAX052-881-5567

E-mail info@asknet.org
<http://www.asknet.org>



平成28年度事業報告

1. 利用決定生徒

学年	利用決定人数				合計 (※)
	生活保護 受給世帯	就学援助 受給世帯	母子又は 父子家庭	その他	
中学1年生	1名	6名	6名	1名	8名
中学2年生	1名	9名	5名		10名
中学3年生		5名	5名	4名	9名
高校1年生			7名	2名	9名
合計	2名	20名	23名	7名	36名

※合計は利用決定者数（世帯状況は重複する項目あり）

2. 実施回数と参加状況

- 実施回数：62回
- 参加生徒：のべ926名（1回平均約14.9名）
- チャレンジサポーター参加数：のべ463名（1回平均約7.5名）
- キャリア教育支援イベント実施回数 19回

平成28年度事業報告

3. その他の実施事項

(1) ステップ通信発行

- 目的：主に教員や保護者にステップの活動の様子を知ってもらう
- 発行回数：2ヶ月に1回発行（年間6回）
- 配布方法：ステップで配布、または、学校から生徒への配布を依頼

(2) ステップライト

- 対象：以前ステップに参加したが、その後参加していない中学生
- 目的：ステップに参加するきっかけを作り、再びステップの利用につなげる
- 実施日：夏休み中の実施日のうち9日間（2時間程度を10回実施）
- 内容：対象生徒に学校を通じて案内を配布。教室外でチャレンジサポーター1～2名が待機し、生徒が来た場合は話を聞くなどの寄り添いの支援を行う。
- 結果：2名参加しその日のステップに参加
（その後の継続利用にはつながらなかった）

平成28年度事業報告

(3) 昼食支援

- 協力団体：16団体
- 利用生徒数：のべ730名（1回平均約11.8名）

(4) 「あすたか」との連携

- 対象：「あすたか」に参加している小学生
- 目的：将来的なステップの利用にスムーズにつなげるための体験の機会
- 実施日：夏休み中の実施日のうち4日間
- 内容：宿題のサポート、イベント（流しそうめん大会）への参加
- 結果：のべ20名の小学生が参加

(5) チャレンジサポーター定例会

- 目的：チャレンジサポーター同士の情報共有や支援内容についての話し合い
- 実施回数：4回（5月29日、9月4日、11月3日、2月19日）

平成28年度事業報告

4. 卒業生の進路

【進学先】

- 高浜高等学校
- 幸田高等学校
- あいち造形デザイン専門学校
- 安城生活福祉高等専修学校
- 名古屋情報専門学校
- 愛知自動車整備専門学校

【就職】

- 株式会社おとうふ工房いしかわ

生徒の変容

○高校2年生T君（昨年度参加回数：28回）

一昨年度、ステップ参加当時は不登校状態。ステップに参加しながら学習を進め定時制高校に合格。高校生活に不安を感じながらも、ステップでのサポーターとの関わりから勉強にも意欲が出てきた。後期には生徒会役員として活動をしている。

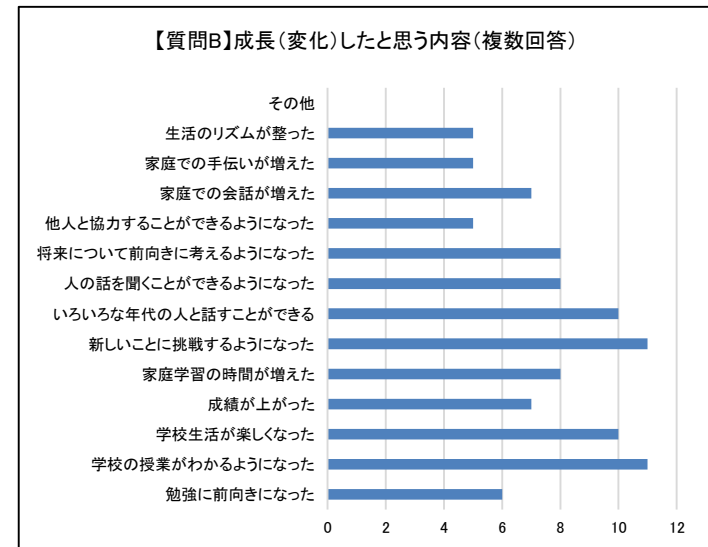
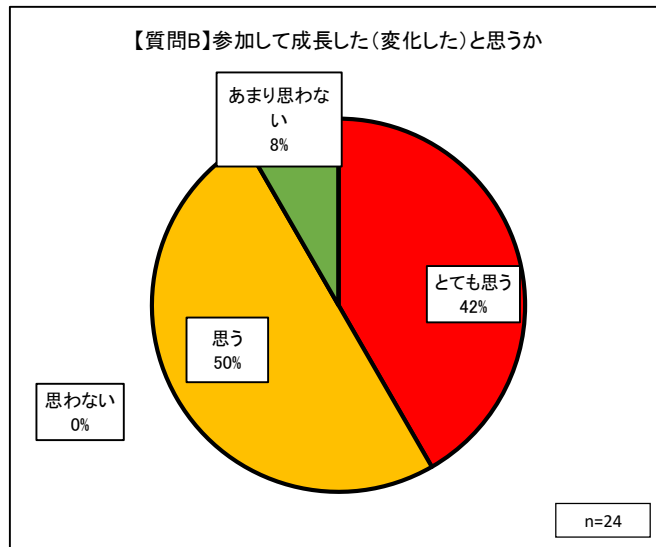
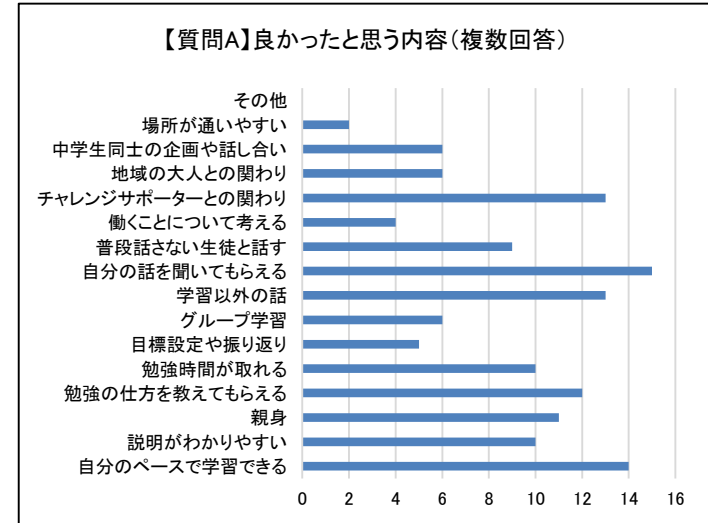
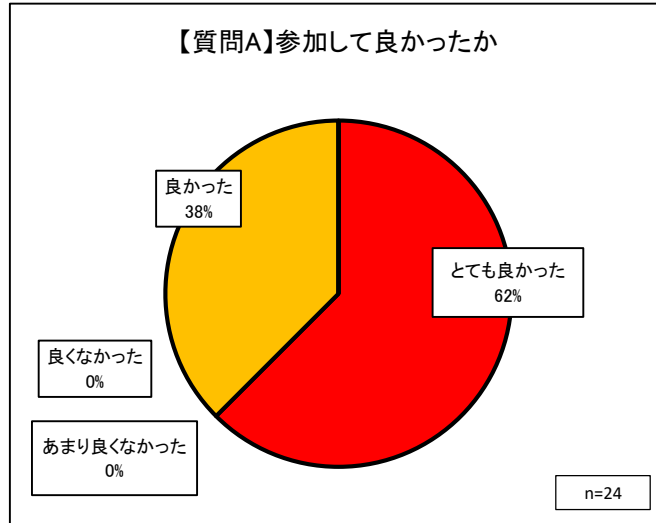
○高校1年生Kさん（昨年度参加回数：41回）

中学校2年生から不登校・引きこもり状態。レインボーに通いながら3年生になり進学を希望し夏からステップに参加。ステップで実施するイベントにも主体的に参加できるようになり、クリスマス感謝会では生徒の中心となって準備を進めていた。学校にも登校できるようになった。受験時には自らノートを作成し学習を進め、今年度から公立高校に進学。

○中学校3年生S君（昨年度参加回数：32回）

不登校状態で学校には登校できていなかったがステップには昼食まで参加。ステップの生徒やサポーター、地域の人とのコミュニケーションもうまくとれるようになってきた。学校の先生も定期的に様子を見に来ていただきステップの場で話をする事ができている。本年度からは通常通り学校に通っている様子。

生徒アンケートより抜粋



今年度の展開 ～課題と対策案～

1. 参加者の増大

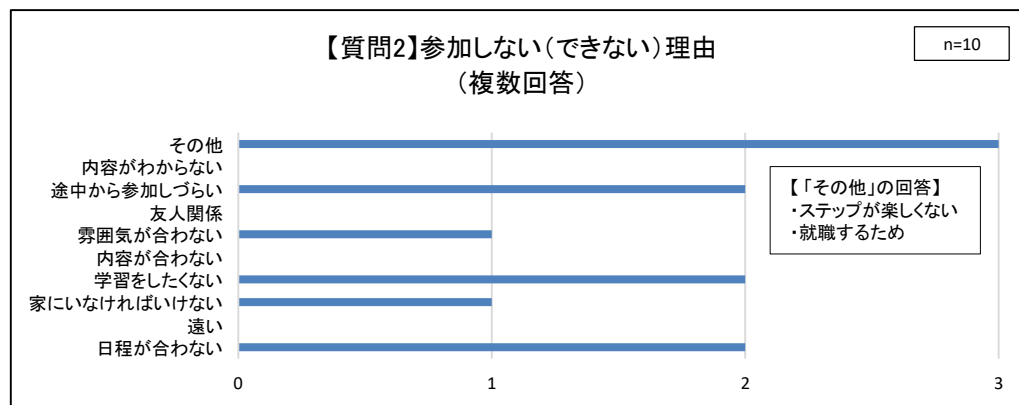
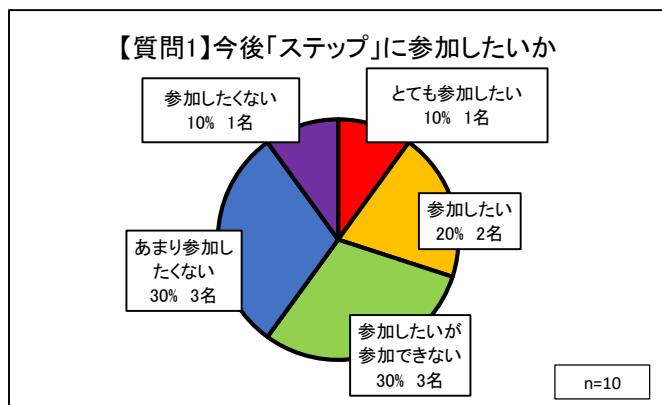
課題①

主たる対象者（生活保護受給世帯、就学援助受給世帯）約170名の参加率が低い。

⇒対策案

- 対象生徒に対して教員から参加を促しやすいように、案内チラシや体験申込書などのツールを充実させ、随時受け入れ可能であることを周知する。
- すこやかサタディと連携を図り、ステップには来ていないがすこやかサタディには来ている対象生徒にアプローチをかける。
- 「ステップライト」やイベントを継続的に実施し、ステップへの入り口を複数つくる。

参考データ: 参加頻度の低い生徒のアンケートより抜粋



今年度の展開 ～課題と対策案～

課題②

中学1年生の参加者が少ない。

⇒対策案

- 教員や生徒に対して、部活動との両立が可能であることを案内チラシ等で周知する。
- すこやかサタディと連携を図り、ステップには来ていないがすこやかサタディには来ている対象生徒にアプローチをかける。

2. 学習の場としての機能向上

課題①

集中して学習できる環境になっていない生徒への対応

⇒対策案

- 朝の会の時間を10分拡大し、学びの要素を取り入れたワークを実施する。
- 個別面談を強化し年間を通じた目標設定や振り返りを実施する。その中で生徒の困りごとを把握し、学習できる状態になれる支援をしていく。

今年度の展開 ～課題と対策案～

3. 保護者への情報発信

課題①

見学・面談希望の保護者への対応

⇒対策案

- メールを活用しステップ通信を配信し、ステップでの活動を発信していく。
(見学や面談の希望が上がっている理由として、ステップでの活動についての情報が少ないことが理由の一つと考えられるため。)

- 保護者見学の機会を設ける。

見学案1：教室見学+昼食同席

見学案2：親子参加型のイベントとして実施

※保護者と接点をつくり、ステップについての理解を深めてもらう。

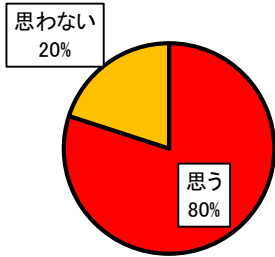
その中で保護者の考えやニーズを把握し、必要に応じて段階的に面談を検討していく。

懸念事項：参加生徒への影響

- 集中力の低下
- 知っている人が来ることへの嫌悪感

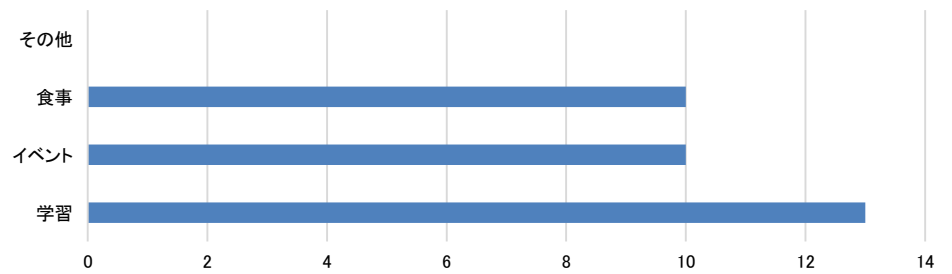
参考データ: 保護者アンケートより抜粋

【質問8】「ステップ」を見学をする機会があれば良いと思うか

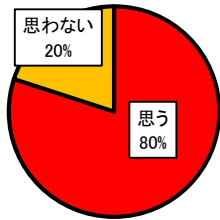


n=20

【質問8】見学したい内容

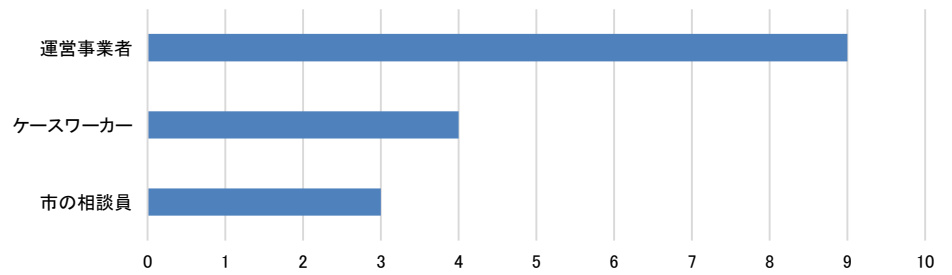


【質問9】保護者面談を希望するか



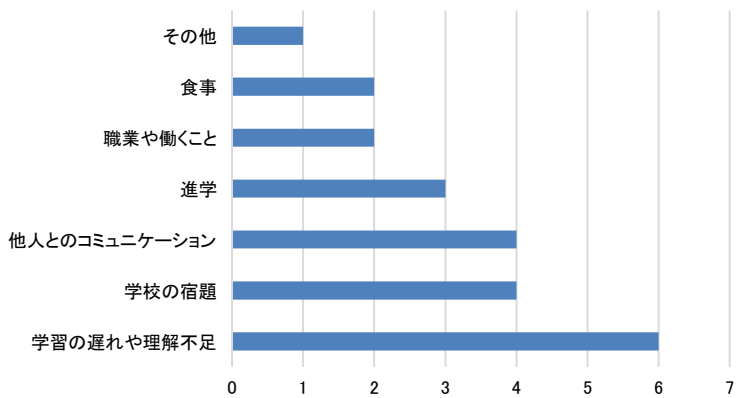
n=20

【質問9】相談相手



【質問2】期待する支援内容(複数回答)

n=7



【質問B】(子どもが)成長した(変化した)と思う内容(複数回答)

n=13

